



SAPPORO  
神奈川大学  
札幌宮陵会  
2021 No.21

発行  
神奈川大学 札幌宮陵会  
企画広報委員会  
令和2年4月30日(木)  
発行責任者  
会長 佐藤 隆良  
事務局  
札幌市北区北29条西6丁目2番3号  
TEL・FAX 011-709-3225  
ホームページ  
www.011jp.com/kanagawa-u/

第21号・札幌宮陵会創立80周年記念号

令和二年 神奈川大学札幌宮陵会は  
創立八〇周年を迎えます

昭和十五年（一九四〇）故三谷榮一先輩（昭九専商）が当会の前身である「札幌同窓会」（札幌・小樽・函館）を創設してから、今年で八〇周年となります。人生で言えば「傘寿」です。今回、会報「創立八〇周年記念号」編集にあたり、本学校友課、宮陵会本部の協力をえて、神奈川大学報、神奈川大学同窓会報、宮陵会報（神奈川大学校友会）、宮陵会報及び Kyu-Ryo から北海道・札幌に関する記事を抽出し、先輩会員諸氏の記憶を頼りに八〇年の歴史を振り返ってみました。当会報の見開きページを参照しながらお読み頂ければ幸いです。

記録によると、昭和十三年頃より三谷先輩を中心に、土肥忠男（昭十一専法）、原田隆之（昭十四専商）先輩等と共に「濱の会」と称して年二回程同窓生有志が集まり会合を開いておりましたが、支那事変、大東亜戦争の影響で自然消滅してしまいました。その後、昭和二十四年の学制改革により横濱専門学校が神奈川大学に設立認可された年、大学より同窓会結成の委嘱を受け「北海道支部」が同年十一月三日に設立されました。また、昭和二十八年十二月二十五日付けで初期の「宮陵会報」が創刊され、支部長三谷榮一、副支部長金川武司（昭十専商）、幹事長富盛憲八郎（商十三専商）先輩の名前が見受けられます。当時の活動は、「水曜会」と称して、毎月第一水曜日に三谷

支部長の会社会議室を活動の拠点とし会合を開いていたようです。後に、名称を「神大一水会」と変更し、会員有志の昼食会を続けていました。例年十二月に実施されている給費生試験、二月の入学試験の会場設営のお手伝い、試験係として来札された先生方との懇親を中心とした忘年会等を兼ねて、総会を開いていたようです。記事によると、昭和三十七年七月には新卒生歓迎会をサッポロビール直営ホール、翌年は雪印パーラーで開催。この年全道支部長会議（札幌、小樽、釧路）が開かれています。昭和三十八年一月に第2三谷ビル新築に伴い連絡事務所を移転。昭和四十五年三月発行の神奈川大学同窓会報によれば、北海道連合支部長三谷榮一、支部は、札幌、函館、帯広、室蘭、釧路、小樽の六支部が登録されています。

札幌の会合記録としては、昭和五十二年十二月札幌東急ホテル、昭和五十二年二月札幌第一ホテル、同年九月には「北海道連合支部総会」が円山の郵便貯金会館於て、ブロック会議設立の支部長会議が開かれ、三谷先輩がブロック会議代表者となっております。

昭和五十九年には、神奈川大学校友会札幌小樽支部総会が開かれ、故馬場元二先輩（昭十五専商）が札幌小樽支部長、三谷先輩が北海道連合会会長に選出され、三谷先輩が四十四年間の同窓会活動への貢献に対し本部表彰を受けております。また、大学同窓会も「神奈川大学校友会」へ名称変更しています。その後、活動が一時期停滞していま

したが、平成七年一月故大島胖先輩（昭三十五経）、桑原豊（昭三十九経）、山本紀（昭三十九法）先輩有志が支部活動再開に向けて「札幌小樽支部再生プロジェクト」を立上げ、札幌中央区民センター等で準備会議を重ね、同年六月二十四日ホテル札幌ガーデンパレスに於て、支部長に大島胖、幹事長に故鈴木英司（昭三十七経）を選出し、名称も「札幌支部」と改称しています。同時に北海道ブロック会議も平成八年の第一回を皮切りに活動がスタートしました。平成十一年四月には札幌支部総会で鈴木先輩が会長に選出され新体制となり、「宮陵会札幌支部会報」が創刊、今日の「神奈川大学札幌宮陵会報」に続いています。会の運営も卒業の若い世代に一新され、総会、各種イベントの企画・立案等、諸先輩の協力の下で歴代の事務局長桑原豊（昭三十九経）、故池田保（昭三十七経）先輩の後を継いだ、故佐藤康彦先輩（昭三十法）に精力的に会を引っ張って頂きました。総会の講演も多彩で、箱根駅伝選手の区間賞を取った重田眞貴君、エベレスト登頂の江崎幸一氏、駅伝チームの大後榮治監督、地下鉄サリン事件でTV解説で活躍された常石敬一教授、元TBSニュースキャスターの田畑光永教授、金融論の鈴木芳徳教授、陸上部の植田三夫部長、山火正則学長、中島三千男学長、石積勝学長、卒業生の佐野正幸氏、菅野米蔵氏、發地喜久治氏、荏本孝久名誉教授等々、最近では兼子良夫学長が二年続けて講演されており

また、神奈川大学後援会（在校生の

後援会組織)主催の父母懇談会(現在は保護者説明会)と同日開催を継続しており、大学教職員、説明会参加保護者の出席により賑やかな総会を演出しています。平成十七年六月には創立六十五周年記念総会が開催され、本学より応援指導部のリーダー部、チアリーダー部、ダンス部の演舞が披露され、この年に札幌支部の会員名簿(会員数一〇六八名)が刊行されました。平成二十三年の総会では、現佐藤会長が所属していた「ひよつとこ踊り保存会」を招き、また会員有志で構成するアカペラコーラスグループが第十七回ホームカミングデー(横浜キャンパス)のステージに出演するなど、札幌支部を全国に発信しています。平成二十五年には大学同窓会が財団法人から一般社団法人への移行に伴い、当会も「神奈川大学札幌宮陵会」と改称されました。平成二十七年に入り、鈴木会長、馬場会長が相次いで逝去され、佐藤隆良先輩(昭三十七経)が会長を引き継ぎ今日に至っております。また、特筆しなければならぬのは、鈴木会長が大切にしていた駅伝チーム合宿応援です。平成九年、十年の箱根駅伝優勝を機に平成十一年より駅伝チーム合宿応援ツアーを平成十九年迄行ってきました。遠軽(平成十一・十五)、深川(平成十二・十四、十六・十九)と旭川、滝川、深川等の近郊の同窓生と激励・応援に駆けつけておりました。最近では、シールド落ちなど残念な結果が続いています。が、栄光に向かって懲りずに応援を続けたいものです。

最近では、道内からの本学への入学も減少し、道内出身者は在学ペースで二一〇名前後、新卒者も五十〜六十名程度と道内への就職者も十名前後の状況で、札幌を初め道内各宮陵会も会員増は期待できない状況です。このような状況下で会を維持していくのは非常に難しいと思いますが、創立八〇周年を機に我々を育ててくれた、建学の精神「質実剛健・積極進取・中正堅実」そして鈴木会長の口癖であった「話題のあるところに人は集う」を合い言葉に、次の八十五周年、九〇周年を目指して会を運営していきたいものです。

「神奈川大学宮陵会第二十三回北海道ブロック会議」について

一般社団法人神奈川大学宮陵会は、全国の宮陵会を北海道・東北から九州・沖縄まで十二のブロックに分け、毎年「ブロック会議」を開催しております。北海道は、平成七年一月に北海道ブロック会議の設立準備会が行われ、平成八年に新制北海道ブロック会議第一回が札幌で開催されました。この年、北見支部が設立され全道八支部の体制(平成二十五年から名称が変更され「神奈川大学〇〇宮陵会」となりま

した。平成十一年、十二年と二年間のブランクがありました。平成十三年からは全道各宮陵会持ち廻りで今日に至っております。今年、開催担当の順番からは苫小牧宮陵会となりますが、昨年の室蘭での会議に於て札幌宮陵会が創立八〇周年なので併せて開催してはとの提案がなされ、札幌で開催することで準備を進めておりました。

札幌宮陵会では、新型コロナウイルスによる国内の感染拡大の現状及び「避けなければならぬ3つの密」に鑑み、令和二年四月三日(金)に緊急役員会を招集、今年度の札幌開催を中止することに決定し宮陵会本部へ報告、道内各宮陵会へ連絡したところです。ブロック会議は、母校を軸として新しい出会いが生まれ旧交を温める活動を展開しており、内容としては、本学の現況、宮陵会本部からの現況報告、各宮陵会の活動状況、運営上の問題などについて意見交換、地域交流を図っています。

過去の資料(同窓会報等)によると、札幌同窓会が創設された昭和十三年頃からは札幌・小樽・函館の三会、昭和四十年頃には札幌・小樽・釧路の三会で支部長会議がもたれ、さらに昭和五十二年には札幌の郵便貯金会館に於てブロック会議設立の北海道連合支部総会が開催され、札幌・函館・釧路・室蘭が出席、苫小牧・帯広・旭川が欠席し、札幌支部の三谷支部長がブロック会議代表に選出されたとの記録が残っています。しかし平成七年の設立準備会までの活動の詳細については今回の調査では確認できませんでしたが、宮陵会報の全国支部一覧には道内七支部が継続して掲載されており、交流が行われていた事をもの語っています。このことから現在のブロック会議の礎となっていることは確かです。会員の皆さんには、ブロック会議の活動にも目を止めて頂き、道内各宮陵会の現況などを知り交流を深めて頂きたいと思



令和二年札幌宮陵会  
創立八〇周年を  
迎えました  
神奈川大学札幌宮陵会  
会長 佐藤 隆良  
(経済 昭和三十七年)

札幌宮陵会の皆様におかれましては、時下ますますご清祥のことと御拝察し、お慶びを申し上げます。日頃から宮陵会の活動に對しまして一方ならぬ御理解と御協力を賜り暑く御礼申し上げます。

さて札幌宮陵会、本年度創立八〇周年を迎えました。宮陵会の皆様と共に心からお慶びを申し上げます。一九四〇年(昭和十五年)三谷榮一先輩(昭和九年専卒)他数人の諸先輩御有志によつて神奈川大学同窓会札幌小樽支部として設立されました。現在名称が神奈川大学札幌宮陵会と変わりましたが八〇年という長い歲月、会を維持し継続に努力された多くの諸先輩の皆様にご心より感謝を申し上げます、敬意を表したいと思います。

一時期札幌宮陵会、活動が停滞する苦難の時期が御座居ました。そういう時期第三代支部長故大島胖先輩(昭和三十五年経卒)が先頭に立ち数名の諸先輩と共に会の立て直しに立ち上り復活にご尽力されました。卓越した指導力での再生に取り組み、組織的な運営の模索又イベントの企画、立案又若い世代の役員への参入等取り入れ、会が復活し現在の札幌宮陵会が存続して居る所で御座居ます。

又平成十一年五月から第四代会長故鈴木英司氏(昭和三十七年経卒)、事

務局長故佐藤康彦先輩（昭和三十年法卒）の両氏の体制で長年精力的に会をリードして頂き、全国地域組織の中でも規模の大きい活発な組織として注目されるにいたりました。今日の札幌宮陵会の礎を築いて頂いたと言っても過言ではありません。長い札幌宮陵会の歴史の中諸先輩の方々（これまでの宮陵会に対する功労に報いる為にも八〇周年を契機に札幌宮陵会、団結を強くし次の九〇周年に向け前進して行かなければなりません）。

私も会長に就任し五年目を迎えました。ここ数年イベントへの参加人員が減少の傾向にあります。（総会、忘年会、納涼会、ゴルフ会、パークゴルフ会等）会の活気が今一つ盛り上らないのが現状であります。会員の減少が大きな要因であります。在籍会員の方々の高齢化そして道内から大学への入学者も減少し、新卒者の道内への帰還も極端に少なくなっております。会員の増加を計る事が会の盛り上り、そして会を維持する事に対し不可欠と考えられます。今後いかに潜在されていらつしやる卒業生の方を宮陵会の行事に足を運んでいただくか、一長一短に行きませんが引き続き取り組んで行いたいと思っております。

札幌近郊には多くの卒業生の方々が在住されていると聞いております。在籍会員の皆様におかれましてもお知り合いの卒業生の方々に声をかけて頂き会の行事に御参加いただく様御協力よろしくお願い致します。

さて神奈川大学は今横浜みなとみらいキャンパス新校舎開設と二〇二八年

の百周年に向け、新総合計画を推進されております。みなとみらいキャンパスの新校舎は、高さ一〇〇メートル、二十一階建、延面積五万平方メートルの校舎で五〇〇〇人の学生が勉学に励まれる様です。

グローバル系の国際日本学部、外国語学部、国際経営学部等の学部が開設され二〇二二年四月開設の予定と聞いております。母校神奈川大学の躍進発展に寄与する事も我々宮陵会の主旨の一つであります。大学発展の為にも札幌宮陵会も御支援して行こうではありませんか。

結びに大学の増々の発展と、札幌宮陵会が九〇周年に向け意気軒昂で邁進されます事を祈念し挨拶とさせていただきます。



札幌宮陵会  
創立八〇周年記念  
によせて  
一般社団法人神奈川大学宮陵会  
会長 久保 清治  
(貿易昭和四十三年)

このたび、神奈川大学・札幌宮陵会が創立八〇周年を迎えられましたこと、全国の宮陵会々員を代表しまして、心よりお祝い申し上げます。

宮陵会（本部）の八〇周年記念式典が最近の二三年前にありましたから、したがって、「札幌」宮陵会も大変歴史が深く、今日まで継続・発展することができました役員をはじめ先輩諸氏の貢献やご尽力に、心より感謝を申し上げ、謹んで深く敬意を表する次第です。

かつて、わが母校の創立当時のキャンパスは、宮面が丘の丘陵地帯にあつたことから、わが同窓会の固有名称として「宮陵会（きゅうりょうかい）」が使われた、と伝え聞いております。現在、宮陵会は、周知のとおり、一般社団法人の法人格として登記されており、わが同窓会の正式名称となっております。

さて、これまで神奈川大学を卒業した同窓生は、約二十五万人で、全国に居住しております。全国の都道府県・主要都市に所在する宮陵会の地域組織は、現在一三六（海外の五組織を含む）、そのほかに職場等を同じくする職域、同期・同好（クラブ）など、各種の地域組織があります。前述の一三六の地域組織は、全国の十二のブロックに区分・組織化されたブロック会に所属し、同窓会の建物である「宮陵会館」の本部とも連絡をとりあいながら、各組織・ブロックは、それぞれ独自の活発な活動や事業を展開しております。

ご存知のとおり、このような大きな同窓会組織は、他大学に比しても有数かつ特異であり、また、わが組織の歴史的な発展は、札幌宮陵会のこれまでの積極的な活動をはじめ、全国に所在する各地域組織の支援と協力の賜物であります。

今後も、母校・神奈川大学のさらなる発展のため、私も卒業生一同は力を合わせ、宮陵会を介して、現役学生への奨学金の給付、部活動への各種の支援、講演会および研究費補助など、母校の教育・研究の進展に貢献できる諸事業を展開し続けて参る所存です。

このたびは、従来から神奈川大学宮陵会の事業活動に惜しみなきご支援とご協力を頂きました札幌宮陵会の創立八十周年を記念して、貴会に心よりお祝いを申し上げますとともに、貴会の一層のご発展を祈念いたします。



創立八〇周年  
おめでとうございます  
神奈川大学  
理事長 牧内 良平

神奈川大学札幌宮陵会創立八〇周年を心よりお祝い申し上げます。

神奈川大学も一昨年、創立九十周年を迎えるとともに、昨年は昭和二十四（一九四九）年の学制改革後、七十年を迎えました。

ご承知のように、東京オリンピック・パラリンピックイヤーである本年は神奈川大学にとって「未来創造スタート年」の二年目となり、秋にはみなとみらいキャンパスが完成。本年四月に横浜キャンパスに開設する国際日本学部とともに外国語学部、国際経営学部（設置構想中）の三学部が来年四月にみなとみらいキャンパスで新たなスタートを切ることとなります。いわば「第二の開学」であり、将来の発展の礎とします。

特に、ソーシャルコモンズを標榜する新キャンパス一階の各施設の運営につきましましては、神奈川大学が進めるSDGs推進活動の拠点として活用するほか、横浜市をはじめ各自自治体、企業等とを繋ぐ連携拠点となることが期待

されます。

一方、横浜・中山キャンパスの整備では、来春に横浜キャンパス図書館の大規模リニューアルが完了し、二十一世紀型の図書館サービスを目指し、学園全体の総合学術情報センターとしての役割も期待されます。また、中山キャンパスのグラウンド整備によって、三月には四〇〇mトラック（六レーン）に加え、人工芝サッカーコートなども完成し、附属学校はもろんのこと、陸上競技部にとっても練習環境がさらに整うこととなります。

今後とも、「みなとみらい効果」によるフォロワーの風気を緩めることなく、十八歳人口減少の危機意識を忘れず、日々の努力によってさらに強い風にしていく所存です。

皆様には、改めて母校への暖かいご支援をお願い申し上げますとともに、貴宮陵会の今後ますますのご発展と、皆様のご活躍を祈念申し上げます。



札幌宮陵会  
創立八〇周年を  
お祝して  
神奈川大学  
学 長 兼 子 良 夫

神奈川大学札幌宮陵会創立八十周年を心よりお祝い申し上げます。

宮陵会の数ある地域組織のなかでも、長きにわたり常に先導的なお立場で活動を展開され、会員交流の推進はもとより、本学の研究・教育活動に對しまして多大なるご支援をいただいておりますこと、神奈川大学の教職員を代表

して厚くお礼申し上げます。

本学は、一昨年創立九十周年を迎え、本年四月には、新たに「国際日本学部」を設置し、二〇二一年四月には横浜みなとみらいに新しいキャンパスが誕生します。

特にグローバル教育に重点を置く二つの学部「国際日本学部」「外国語学部」「国際経営学部（設置構想中）」を集約し、学生は、新キャンパス「みなとみらいキャンパス」を本拠地として学ぶこととなります。

本年は、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催される年でもありますが、このオリンピック・パラリンピックの意義は、まさに二〇一八年の「神奈川大学ダイバーシティ宣言」や二〇一九年の「SDGsへの神奈川大学のコミットメント」に繋がるもので

す。つまり、研究・教育活動を通じて、世界の恒久的平和と人類の幸福の実現に貢献できる良識ある市民を育成し、社会に存在する差別や偏見の根源的な解明と解決を目指すことに加え、地球規模の課題に対してさまざまな側面から解決策を見つける最前線にいる本学としては、その解決に大きな責任を担っているといえます。

さらに、二〇二八年の創立一〇〇周年と今後の永続的な発展を見据えて、本学の研究と教育の優位性を未来に向けて生かし、「時代を切り拓く力」を持った「YOKOHAMA」の総合大学として、世界を惹きつけ、未来社会を先導するために、さらなる教育組織の改革をはじめとする先進的な取り組みを進めてまいります。

これからの神奈川大学の動きにさらに注目していただき、これまで以上に卒業生の皆様のお力添えをお願いする次第です。

皆様には、これまで同様に母校への暖かいご支援をお願い申し上げますとともに、貴宮陵会の今後ますますのご発展と、皆様のご活躍を祈念申し上げます。

### 宮陵会と私

相馬 剛幸  
(経済昭和三十九年)

札幌宮陵会創立八〇周年 誠におめでとうございます。私がこの栄えある記念日に存在することに人知れず喜びを感じる所であります。

私は昭和三十九年経済卒で、初めて勤めた職場は東京丸の内です。そこは所謂「三菱村」と言われた所です。六年後には会社解散で元々は三井系なので日本橋「三井村」に職場が変わりました、職場が変わると同時に住居も荻窪から千葉市稲毛に転居しました。転居して二年程で当時、稲毛海岸を埋め立て造成した公団住宅（現UR）の分譲住宅に補欠当選し、以後四十年間、稲毛から日本橋までの通勤が続きました。

当然、私は「千葉支部」に加入していましたが、総会は千二百人の会員が収容出来る「県民会館」で開催してました。当時は会員数では千葉が一番で札幌は二番目に多いと聞いていました。私は五十才の時に札幌支店に転勤に

なり、初めて単身赴任で札幌に住みました。札幌支店在任中、大島先輩（故人）が森先輩（現、神奈川支部理事）を訪ねて来られました。その時、森先輩は東京本社に転動していたのですが、その旨を告げ、私も神大出身なので、その場で同窓会の入会を勧められ札幌支部に入会しました。

その後、三年で東京本社に戻りましたが、五十五才の定年（当時）後、六十才まで嘱託で勤め、退職し札幌に来ました。何故なら、札幌勤務中に現在の住居であるマンションの一区画の買取りを要請され購入したので、札幌に居住する場所があったからです。札幌に来てからは無職。職安の紹介でビル管理人を三年、その後「シルバ一人材センター」で暇つぶし。その後暇つぶしをしていた会社から正式採用の要請があり今日に至っています。

現在、勤めている会社は定年六十才、嘱託で六十五才なのですが、私の場合、私がギブアップするまで勤めていられます。

今住んでるマンションには種々同好会が有り、私は「パークゴルフ」の会に入り毎月一度の例会に参加しています。また、酒の席は嫌いではないので、近くの居酒屋で、ご近所の皆さん（職場が近くで退職後は学園都市の自宅から、元の職場が近くでも自宅は平岸、市電で駆けつける人もいます）での月例会に参加しています。

従って、私が現在の会社に勤務している限り、同窓会の行事には参加する予定でいます。よろしくお願い申し上げます。

### 札幌宮陵会に感謝

柴山 ひろこ  
(法律 昭和五十一年)

私は昭和四十六年に札幌の高校を卒業、進路希望は東京の大学でした。ところが受験した大学は全て落ちてしまい、浪人を余儀なくされたのです。挫折感を味わいながら予備校に通って知り合ったのが後に結婚する相手となるのですが、彼の友人が現役で神大に合格していて横浜に住んでいました。無鉄砲にも、彼と共に私はその神大生を頼って横浜へ引越してしまつたのです。両親の反対や心配をよそに希望に満ち満ちて。確か、十二月頃だつたと記憶しています。札幌は冬に向かつて、とても暖かでした。翌年、私は神大を受験して無事に合格したわけですが、振り返るとなんとという親不孝なことをしたのかと冷や汗が出てきます。それでも両親は何も言わずに学費を出し続けてくれました。感謝、感謝です。大学の四年間は、親に迷惑をかけまいとずっとアルバイトをしていました。六角橋の古本屋、喫茶店、雀荘、映画館。どこも食事付きでした。働くということを学び、良い経験をさせてもらいました。バイトをしながらも、卒業に必要な単位をとつてしまつたので、四年生の夏から今でいうインターンシップで、東京の商社に働き始めてそのまま就職。その後、彼と結婚して札幌にUターン。紆余曲折があり、現在の

不動産会社で働くようになりました。そこで、当時ミサワホームで営業をしていた中村先輩と知り合うわけです。中村先輩から、神大の同窓会があるから一度出てみませんか？とお誘いを受けて、参加してから早や十五年ほど。忘年会、総会、ビール会などに数回しかお会いできないけれど、同窓という関係は無条件で心が許せると思ひました。過ごした時代はそれぞれ違つていても街は変わらない。六角橋交差点も仲見世も白楽の駅も。時を超えて同じ空間を共有した仲間との心置きない会話は楽しいものです。先輩方からお仕事もたくさん頂きました。心から感謝しています。札幌宮陵会に参加するようになって、私は神大に入つて本当に良かったと心底思えるようになりました。同窓会の良さは、素晴らしい先輩たちと出合える場であること、そして自分自身も後輩たちからそう思ってもらえるように、しっかりと生きていかなければと、ちよつと背筋を伸ばすことができる場であることでしょうか。これからも、札幌宮陵会を大切にしていききたいと思つています。

### バスネット君のこと

田畑 富佐子  
(西語 昭和五十三年)

二〇一四年春、成田空港で高速バスを待つていた。次男が住んでいる宇都宮まで、所要時間は三時間。大学を出るまで一人暮らしをしたことがなかつ

た次男の要請にに応じて「生活指導」に向かうところだつた。バスの乗客は五人しかいない。海外旅行帰りらしい老夫婦と私、それに外国人の若者ふたり。私は日本語教師をしている。外国人に日本語を教える仕事だ。ひらがなもわからない零レベルにも教える。骨は折れるが、必死で勉強する生徒が日々上達していくのを見るのは非常な喜びだ。私はその若者たちに話しかけた。日本語はわからない。ひとりは流暢な英語を話す。二三歳、ネパール人で、カトマンズの大学を卒業してこれから宇都宮の日本語学校で勉強する。日本語を習得して、日本で大学院に行きたい。ネパールの農業技術を向上させてもつと豊かな国にしたいから、入りたいのは農学部。英語が流暢なのは、初等教育からずっと英語で授業を受けてきたからだつた。家が貧しいので両親は大変だつたが、彼への期待は大きい。バスネット君は日本での新生活に目を輝かせていた。

あれから月日は流れ、私たちはフェリスブックで連絡を取り合つた。日本語学校を卒業し、彼は宇都宮大学農学部の聴講生になった。私は何度目かの「生活指導」の時に、サプライズで大学を訪問した。昼時の学食から連絡すると、研究室に案内してくれた。彼の担当教官は韓国人の教授で、自身の異国での研究生活の苦労を語り、バスネット君に期待しているのがよくわかつた。来年は絶対大学院に入る、と彼は言つた。しかし、バスネット君に大学院は叶わなかつた。大学院試験に合格し、ネ

パールに一時帰国して準備をしていたが、再入国できなかつた。ビザが取れなかつたのである。彼は今オーストラリアで大学院生だ。そこで夢が叶うのを祈りつつ、日本でその夢が叶わなかつたことがとても残念だ。ところで、皆さんもご存知のように、神奈川大学には一九三三年から給費生というすばらしい制度がある。現在は大学四年間で八百四十万円もの無返済の奨学金が下りる。外国人留学生授業料減免制度というのものもあるものの、最大五〇%減でしかない。給費生は「広く全国から優秀な人材を募る」として設けたところ、国籍に縛りはないそうだ。昨今の日本語学習者のレベル向上度をみると、留学生の給費生が出てもおかしくない。私は思つてい

### 青春回想

谷口 学  
(機械工學 昭和六十三年)

札幌宮陵会創立八十周年を迎えたことは、会員として喜ばしくまた誇らしい限りです。

諸先輩方の努力に深く感謝致します。早いもので大学を卒業して三十二年の月日が経ちました。ここ最近は一



# 神奈川大学 札幌宮陵会 80年の歩み

**1984**

(昭和59年)

神奈川大学同窓会より神奈川大学校友会に名称変更それに伴い神奈川大学同窓会札幌小樽支部より「神奈川大学校友会札幌小樽支部」として再出発  
札幌小樽支部第二代支部長 馬場元二(専商 昭和15年)



札幌支部総会  
1985(昭和60年)  
札幌ホテルアカシヤ

**1963**

(昭和38年)

第2三谷ビル完成に伴い連絡事務所を同ビルに移転全道支部長会議開催する



横浜キャンパス全景 (1962年12月)

**1953**

(昭和28年)

支部長三谷榮一、副支部長金川武司、幹事長富盛憲八郎「水曜会」と称し活動する「水曜会」後に「神大一水会」と名称替え会員有志により昼食会開く

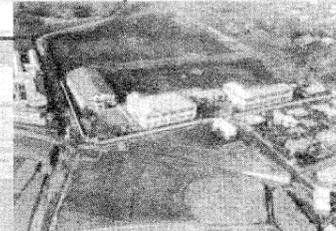


大学校舎 (1957年)

**1949**

(昭和24年)

学制改革により横濱専門学校が神奈川大学に設立認可 同窓会「北海道支部」設立



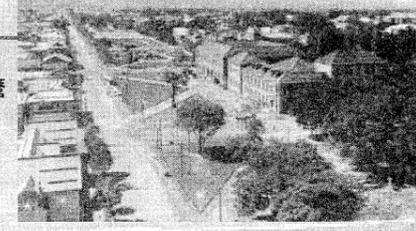
日独伊三国同盟  
総理大臣:近衛文麿

横浜専門学校全景  
(1937年)

**1940**

(昭和15年)

三谷榮一先輩、土肥忠男先輩、原田隆之先輩および14・5名の諸先輩有志によって「札幌同窓会」(札幌・小樽・函館)を創立  
初代支部長 三谷榮一(専商 昭和9年)



昭和初期の大通公園  
西1丁目辺りから西を望む

**1995**

(平成7年)

ホテル札幌ガーデンパレスにて札幌小樽支部総会を開催し活動を再開する

札幌支部  
第三代支部長  
大島 胖  
(専商 昭和35年)



札幌支部総会  
1997(平成9年)

**1997**

(平成9年)

第73回箱根駅伝  
総合優勝  
(往路1位、復路2位)  
香港が中国に返還

**1998**

(平成10年)

第74回箱根駅伝  
完全優勝  
(往路、復路1位)  
会員名簿作成  
970名を掲載



宮陵会(神奈川大学校友会)  
札幌支部会員名簿

**1999**

(平成11年)

宮陵会札幌支部  
第四代支部長  
鈴木 英司  
(専商 昭和37年)

**2000**

(平成12年)

宮陵会札幌支部  
会報創刊号発行。  
総会出席者100名  
を越す。



**2002**

(平成14年)

神奈川大学陸上競技部  
深川(北海道)合宿激励会実施  
第78回箱根駅伝  
往路1位、総合6位



**2003**

(平成15年)

遠軽(北海道)  
合宿激励会  
実施

**2004**

(平成16年)

神奈川大学陸上  
競技部  
深川(北海道)合宿  
激励会実施



**2005**

(平成17年)

宮陵会札幌支部  
創立65周年記念  
総会開催  
応援指導部 リーダー部、  
チアリーディング部  
の演武披露



会員名簿作成  
1068名を掲載

横浜キャンパス1号館  
荒川、トリノ五輪で金メダル  
日本の人口、  
減少局面に

**2020**

(令和2年)

札幌宮陵会、三谷榮一先輩等創立から数え、本年で80周年を迎える。昭和、平成、令和と歴史を重ねる。



**2018**

(平成30年)

第一回パークゴルフ大会開催  
えべつ角山パークランド



**2015**

(平成27年)

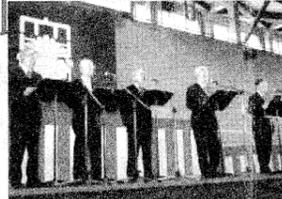
札幌宮陵会第五代会長  
佐藤隆良(専商昭和37年)就任  
札幌宮陵会第四代会長  
鈴木英司先輩急逝

ラグビーW杯”南アフリカ”  
を破る  
マイナンバー開始  
外国人観光客爆買

**2011**

(平成23年)

「サスピシャス・フロイデ」  
第17回神奈川大学ホーム  
comingデーに招待、  
合唱を披露する



**2010**

(平成22年)

宮陵会札幌支部  
創立70周年

**2008**

(平成20年)

第11回北海道ブロック会議・平成20年度札幌支部総会開催する



**2006**

(平成18年)

札幌支部総会にて活動開始する



一年の過ぎる速さを痛切に実感している次第です。

入学式、六角橋を過ぎ校門のはるか下から連なるサークルの勧誘合戦をかくぐり入ったのが「北海道愛好会」なるサークル、同郷先輩からの強制的な勧誘でした。

しかし当時世間は女子大生ブームと、テレビ番組から始まった華やかな世界に心奪われない訳がない・・・我らも流れに乗るべき。

翌年同期と結託して、札幌市民に取っちゃ手足のようなスキーを武器に、スキーサークル「ノースフォックス」を立ち上げました。そして空前のスキーブーム到来となります。

鼻息荒く近郊の女子大で勧誘したりとサークル中心の生活は楽しくも、授業が遠く工学部の人間はすっかり寄り道をさせられました。

最終年、研究室は現役学生に我ら留年組と二部生が寄り集まった妙な環境でした。そんな仲間達とは熊倉先生を初め十七名全員が今でも数年に一度集まる間柄です。

サラリーマン時代、一九九五年阪神淡路大震災が発生した年に東京本社から札幌に転勤したのも数年後、バブル後遺症の希望退職制度に乗っかって円満退社と成ります。

その後、母方祖父創業の会社に転職し、今まで会社の看板でいかに仕事が出来たのかに気づき、人脈の重要性を痛感させられたのでした。

そんな折、道新の掲示板で宮陵会札幌支部総会開催の案内を偶然見つけたのです。

初めて参加した総会は一四〇名程の出席者があり、各分野の第一線で活躍されている優秀な先輩達の多さにびっくりしたのを覚えています。もちろんその後は同窓のよしみで仕事でもお世話になり、引き続き会にもかわり副事務局長として今に至ります。

私が学生の頃は地方出身者が七割程を占め、それぞれが夢や挫折を心に秘めて神大に入学してきたように思います。やはり横浜の地で開学し、そこにこだわりと特色を持った校風が魅力に感じたのに他なりません。

これからもぶれずにこの建学精神を守って頂き、若者に選ばれる母校として発展することを心より願っております。

### 事務局より

事務局長 保喜 誠  
(法律昭和五十年)

今年度の総会は、新型コロナウイルスの国内感染拡大の現状及び「避けなければならぬ3つの密」に鑑み、緊急役員会に於て中止と決定致しました。例年、総会にて審議いただいた議案等について、今年度は変則的ではありますが「神奈川大学札幌宮陵会報第二十一号」にて以下の通り告知することと承認を頂くことと致しました。

本会では年間を通して様々なイベントを企画しております。前回は都合で参加出来なかつたが今回は出席してみようか等と参加される方も多々おられますので、事務局として継続的に開催する必要性を感じております。なお、

役員会・幹事会等については必要に応じて随時開催しておりますので、開催日時などは省略させていただきます。

#### 一 令和元年度事業報告について

- ① 令和元年五月二十五日(土) 札幌プリンスホテル 国際館パミールにて 札幌宮陵会令和元年度 総会・講演会・懇親会

講演会 講師 神奈川大学工学部 名誉教授 荏本 孝久

演題 地震災害と防災  
北海道を中心として

神奈川大学宮陵会から 会田彰副会長が出席

- ② 神奈川大学から兼子良夫学長が出席
- ・神奈川大学後援会保護者説明会への参加(会長、事務局長)

- ③ 令和元年六月二十九日(土) 札幌宮陵会親睦パークゴルフ大会

- ④ 令和二年七月十三日(土) 札幌宮陵会親睦ゴルフ大会

- ⑤ 令和元年八月二十四日(土) 札幌宮陵会納涼会

- ⑥ 令和元年九月七日(土) 札幌宮陵会納涼会

- ⑦ 北海道ブロック会議への参加(会長、事務局長、サスピシヤスフロイデ)

- ⑧ 神奈川大学宮陵会から 久保清治会長が出席
- 室蘭プリンスホテルにて
- 令和元年九月二十一日(土)

札幌宮陵会親睦パークゴルフ大会 えべつ角山パークランド(江別市角山) 令和元年十一月二十九日(金) 札幌宮陵会忘年会 札幌パークホテル

レストランピアレ2F

#### 二 令和二年度事業計画について

- ① 令和二年五月三十日(土) で準備を進めておりましたが、前述の通り中止と致します。予定していたイベントは以下の通り。

札幌宮陵会令和二年度総会・講演会・懇親会(創立八〇周年記念含む) 神奈川大学宮陵会

- ② 第二十三回北海道ブロック会議
- ・神奈川大学後援会保護者説明会への参加(会長、事務局長)は未定
- 令和二年六月六日(土) 札幌宮陵会令和二年

- ③ 第一回親睦パークゴルフ大会
- えべつ角山パークランド(江別市角山)
- 令和二年七月十八日(土)

- ④ 札幌宮陵会親睦ゴルフ大会
- ダイナスティゴルフ北広島
- 令和二年八月二十二日(土)

- ⑤ 札幌宮陵会納涼会
- 札幌宮陵会令和二年
- 札幌宮陵会令和二年
- 札幌ランドホテルビッグジョッキ
- 令和二年九月二十六日(土)

- ⑥ 第二回親睦パークゴルフ大会
- ロンスケープ輪厚(北広島市輪厚)
- 令和二年十一月二十八日(土)

- ⑦ 札幌宮陵会忘年会
- 札幌パークホテル
- レストランピアレ2F

令和元年度 札幌宮陵会収支決算書

収入の部 (単位:円)

H31/4/1~R2/3/31

項目	令和元年度予算	決算	増減	備考
繰越金	145,283	145,283		
年会費	300,000	264,000	△36,000	総会時 3,000×42=126,000 振込み 3,000×46=138,000
総会会費	250,000	231,000	△19,000	懇親会 5,000×36=180,000 3,000×5=15,000 他 6,000×6=36,000
宮陵会助成金	200,000	198,800	△1,200	宮陵会通信費・印刷経費助成金 ブロック会助成金
広告協賛金	129,000	129,000	0	会報No.20号広告協賛 (30枠)
雑収入	50,000	76,100	26,100	総会ご祝儀・寄付
合計	1,074,283	1,044,183	△30,100	

支出の部 (単位:円)

項目	令和元年度予算	決算	増減	備考
事業費	680,000	566,982	△113,018	総会懇親会・景品等 会報総会・行事案内状印刷
事務費	110,000	130,094	20,094	会報発送費・郵便後納・電話費・ホームページ 管理費・振込用紙・印刷費・はがき等
会議費	120,000	114,878	△5,122	委員役員会議費・ブロック会議費
委員会費	20,000	14,627	△5,373	イベント補助費等・企画広報委員会費
予備費	30,000	1,936	△28,064	電報等
繰越金	114,283	215,666	101,383	次年度繰越金
合計	1,074,283	1,044,183	△30,100	

決算報告に基づき、会計帳簿、領収書等を照合の結果その収支は、妥当であり相違ないことを確認した。  
令和2年 4月 8日

監査 杉尾純 

令和2年度 札幌宮陵会収支予算 (案)

収入の部 (単位:円)

R2/4/1~R3/3/31

項目	令和2年度予算	備考
前年度繰越金	215,666	令和1年度繰越金
年会費	240,000	3,000×80名
総会会費	0	
宮陵会助成金	140,000	宮陵会通信費・印刷経費助成金
広告協賛金	144,000	会報No.21
雑収入	10,000	
合計	749,666	

支出の部 (単位:円)

項目	令和2年度予算	備考
事業費	230,000	会報作製費・行事案内状
事務費	170,000	事務管理通信費・総会資料送付費
会議費	50,000	委員役員会議費
委員会費	30,000	イベント補助費・企画広報委員会費
予備費	50,000	慶弔費等
繰越金	219,666	次年度繰越金
合計	749,666	

三 令和元年度収支決算書、会計監査報告書  
及び令和二年度収支予算案について

リフォームのキタグニ

北国建築サービス株式会社

代表取締役 中村 明

一級建築士・一級建築施工管理技士

S45年建築学科卒

〒004-0848 札幌市清田区清田8条2丁目12-15  
TEL 011-398-3481 FAX 011-398-3482  
Mobile 090-3775-3801  
E-mail:kitaguniks@hokkaidou.me  
http://hokkaidou.me/kitaguniks/

HARUMOTO

株式会社 ハルモト

代表取締役社長

春本 隆

S44工業経営学科卒

〒064-0821 札幌市中央区北1条西20丁目2番16号  
サントピア表参道1F

TEL:011-590-0629 FAX:011-590-0729  
Mobil:090-3395-9986 E-mail:t.harumoto@atbb.ne.jp

人と環境にやさしい郷土の礎を創る



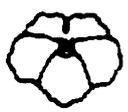
**うえてつ株式会社**  
UETETSU.CO.,LTD

代表取締役 **上野 敬 恭** S50年機械科卒  
E-mail:h.ueno@uetetsu.jp

常務取締役 **上野 恭 敬** S55年機械科卒  
E-mail:y.ueno@uetetsu.jp

□本社・工場 〒060-0909 札幌市東区北9条東2丁目3-20 TEL(011)711-1370 FAX(011)723-2956  
 □製品センター 〒060-0908 札幌市東区北8条東3丁目2-12  
 □機材センター 〒061-1102 北広島市西の里369-3  
 □旭川営業所 〒070-8013 旭川市神居3条21丁目61-1マルスギビル2F TEL(0166)76-4080 FAX(0166)76-4082  
 □関東営業所 〒170-0013 東京都豊島区東池袋1丁目31-10ビル池袋711号室 TEL(03)5944-8627 FAX(03)5944-8647  
 □関東工場 〒319-0106 茨城県小美玉市堅倉1675-15 TEL(0299)48-0225 FAX(0299)56-4228  
 □東北営業所 〒020-0855 岩手県盛岡市上鹿妻田員7-6 TEL(019)656-7220 FAX(019)656-7286

茶道美術工芸品



**株式会社 貴洲屋**

代表取締役 **吉中 慎 治**  
S47年機械工学科卒

〒060-0003 札幌市中央区北3条西12丁目2-1  
TEL 011-272-0200 FAX 011-272-0201

**MEN'S PLAZA**  
**UYAMA**

こだわりを一着のスーツに込めて  
紳士服イージーオーダーの店

**メンズプラザ ウヤマ**

代表取締役 **宇山 文 直**  
S52経済学科卒

ホームページ <http://uyama.jp>  
〒001-0011 札幌市北区北11条西4丁目1-10  
TEL **011-716-6103** FAX **011-716-9113**

神奈川大学OBの方特別割引致します

昭和51年 法律学科卒

代表取締役 **柴山 ひろこ**  
宅地建物取引士 石狩第11475号

北海道知事 石狩(13)第1630号

**株式会社 啓成ホーム**【不動産売買の仲介】

〒064-0914 札幌市中央区南14条西1丁目2-18-308  
TEL.011-312-2522 FAX.011-351-2724  
携帯：090-6319-1929 E-mail：hiro-s@keisei-home.com

**株式会社 天 驕 Tenkyo**

専務取締役  
**花井 英明** (S54年 法学部法律学科卒業)

刮痧国際協会事務局長

〒064-0808  
札幌市中央区南8条西3丁目6-1-711  
Phone&Fax 011-215-1288  
mobile 090-8634-3040  
ホームページ <https://tenkyo.co.jp>  
Mail:hanai@tenkyo.co.jp



ビルメンテナンス・ホームケアシステム



株式会社 **ベンチャー**

●建築物清掃業北海道7清第9号 ●飲料水貯水槽清掃業北海道7貯第10号

代表取締役 **三 浦 清 寿**  
S54年経済学科卒

〒003-0853 札幌市白石区川北3条1丁目5番23号  
TEL(011) 875-7855(代) FAX(011) 875-8726

ホームページ [清掃ネットドットコム](#)

**Katoh construction** ■ 快適空間創造企業 ■

一級建築士事務所(石)第2523号/建設業者登録(石)第10846号/宅地建物取引業登録(石)第4527号

**加藤建設株式会社**

常務取締役 **谷口 学** (S63年 機械工学科卒)

〒006-0006 札幌市手稲区西宮の沢6条1丁目12-12  
TEL(011)676-1288 FAX(011)676-1289

E-mail : [tani@katoh.nu](mailto:tani@katoh.nu)  
<http://www.katoh.nu/>

**SEKO**

・サイン/看板 製作施工  
・Tシャツプリント 1枚からOK

代表取締役 **三井 尚子**  
(S60年西語学科卒)  
Mail : [t\\_mitsui@s-seko.co.jp](mailto:t_mitsui@s-seko.co.jp)

株式会社 **セーコー**

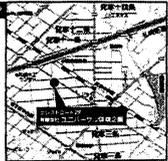
〒063-0847 札幌市西区八軒7条西4丁目1-12  
Tel 011-643-1811 Fax 011-643-1815  
<http://www.s-seko.co.jp>  
建築業許可登録 鋼構造物工事業(般-21)石第20192号

**ふれあい 保険工房**  
 営業部 **小野地 友希**  
 Onochi Yuuki  
**有限会社 ユニバーサル保険企画**  
 〒063-0827 札幌市西区発寒7条5丁目11-21 クレストコート2F  
 TEL (011)676-2882 FAX (011)676-2883  
 E-mail: o.yuuki@fureai-hoken.com  
 http://www.sjnk-ag.com/b/fureai 携帯 090-5952-3507

取組保険会社  
 ・損害保険ジャパン日本興亜(株)  
 ・SOMPOまわり生命保険(株)  
 ・東京海上日動火災保険株式会社  
 ・三井住友海上火災保険株式会社  
 ・第一生命保険株式会社  
 ・ジブラルタ生命  
 ・エヌエヌ生命

24時間事故受付センター  
 フリーダイヤル  
**0120-256-110**

ロードアシスタント専用デスク  
**0120-365-110**



**清水 彰 法律事務所**  
 弁護士 **清水 彰**  
 (H8年 法律学科卒)  
 弁護士 **稲川 貴之**  
 事務所 ☎060-0061 札幌市中央区南1条西3丁目  
 札石ビル5階  
 TEL 011(218)1011  
 FAX 011(218)1277

**KU**  
 神奈川大学札幌宮陵会  
 副会長 **高尾 雅幸**  
 S 46年経済学科卒  
 事務局  
 〒011-0009  
 札幌市北区北二十九条西六丁目一三  
 電話 FAX (011)709-1325  
 〒011-0800  
 札幌市北区篠路十条四丁目三二一〇  
 電話 FAX (011)577-5921

**K.service**  
 ケイ・サービス  
 サッシ・硝子・シャッター販売  
 代表 **菊地 好正**  
 S 45年貿易学科卒  
 〒063-0813  
 札幌市西区琴似二条二丁目一十一九〇五号  
 電話 FAX (011)624-6348  
 携帯 090-3394-8430  
 E-mail: yk0722y@gmail.com

**滝川 英明**  
 S 45年電気学科卒  
 〒001-0018  
 札幌市北区北十八条西五丁目一十二一  
 電話 (011)726-1558

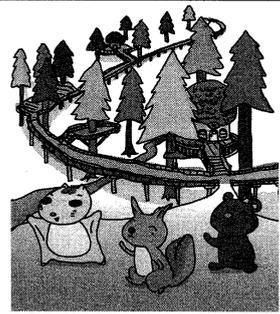
夏は緑、冬は猛吹雪の地あいの里  
 一級建築士  
 住人 **矢田部 典久**  
 S 44年建築学科卒  
 〒002-8072  
 札幌市北区あいの里 桑葉六丁目番五二〇三  
 電話 FAX 011-556-1565  
 E-mail: nori-yababe@keh.biglobe.ne.jp

**KU**  
 神奈川大学札幌宮陵会  
 事務局長 **保喜 誠**  
 S 50年法律学科卒  
 事務局  
 〒011-0009  
 札幌市北区北二十九条西六丁目一三  
 電話 FAX (011)709-1325  
 〒063-0813  
 札幌市西区琴似二条六丁目一〇四七  
 電話 FAX (011)666-1820

**KU**  
 神奈川大学札幌宮陵会  
 事務局長 **保喜 誠**  
 S 50年法律学科卒  
 事務局  
 〒011-0009  
 札幌市北区北二十九条西六丁目一三  
 電話 FAX (011)709-1325  
 〒063-0813  
 札幌市西区琴似二条六丁目一〇四七  
 電話 FAX (011)666-1820

調査測量・表示登記  
 札幌土地家屋調査士会  
 春日土地家屋調査士事務所  
 土地家屋調査士 **春日 晃**  
 S 50年法律学科卒  
 〒004-0845  
 札幌市清田区清田五条三丁目五番九号  
 電話 011-883-1267  
 FAX 011-883-1683  
 携帯 090-377-4888

**にむ俱樂部**  
 オーナー **横山 誠**  
 S 49年工学部機械科卒  
 ホームページ <http://nimu.aelon.tn/>



札幌市内の秘密基地、ツリーハウスがある自然の森

**JA**  
 J A道央  
 恵庭北広島営農センター  
 営農振興課  
**石田 照男**  
 S 54年経済学科卒  
 〒061-1382  
 恵庭市島松仲町二丁目十番十四号  
 電話 011-336-1891  
<http://www.ja-dowoh.com>

**小柴 延幸**  
 S 54年法律学科卒  
 〒067-0042  
 江別市見晴台一八一二  
 電話 011-385-1386  
 FAX 011-385-1345  
 携帯 090-375-1059

**Wood Construction Design**  
 《木質構造コンサルタント》  
**三橋 重明**  
 S 54年建築学科卒  
 有限会社 創企画  
 〒001-0029 札幌市北区北29条西6丁目2番3号  
 TEL・FAX 011-311-4268  
 E-mail: soukikaku123@gmail.com

各国語翻訳承ります。  
 日本語、英語、中国語、スペイン語、  
 フランス語、ロシア語、etc……  
 ネイティブが最終チェックいたします。

翻訳集団 **Team TABATA**  
 代表 **田畑 富佐子**  
 S 53年西語学科卒  
 〒063-0052  
 札幌市西区宮の沢2条1丁目8-5  
 Tel: 080-6088-3096  
 fusakota1218@gmail.com

平成9年スペイン語学科卒  
伊藤 さやか

トモエ

《醤油・みそ・その他加工食品》  
お気軽にお問い合わせ下さい

福山醸造株式会社  
〒065-0043  
札幌市東区苗穂町2丁目4番1号  
080-1890-3835 (直通)  
sayaka-ito@tomoechan.co.jp

池田煖房工業株式会社  
営業部  
次長 宮岡 裕二

S56年建築学科卒

〒001-0012  
札幌市北区北十二条西三丁目八番地  
電話 (011)726-1152  
FAX (011)726-1150  
携帯 090-8224-1150  
E-mail: myyaka@ikedan.co.jp

Asada アサダ株式会社  
札幌営業所  
所長 菊池 一彦

S55年経済学科卒

〒065-0015  
札幌市東区北十五条東三丁目1-13  
電話 011-704-4396  
FAX 011-704-4396  
E-mail: kikuchi@asada.co.jp

笹原 司法書士 総合事務所  
行政書士 笹原 知己

S55年法律学科卒

〒060-0002  
札幌市中央区北二条西二丁目二六番地  
道特会館六階  
電話 011-231-3771  
FAX 011-231-5261

会報製作にあたりご協賛をいただきました

株式会社  
ダイヤ書房

本部・営業部/  
〒065-0025 札幌市東区北25条東8丁目2-1  
TEL(代)011-712-2191・FAX011-752-1184  
http://www.daiyashobou.com

NetZ TOYOTA  
営業係長 濱野 崇

H13年国際学科卒

〒053-0814  
北海道苫小牧市糸井一四八番地四  
電話 011-444-7171  
FAX 011-444-7171  
E-mail: t.hamano@strg.co.jp  
U.R.L: www.netzdoto.com

アフラックサービスショップ 月寒店  
アフラック募集代理店  
株式会社 カワサキ保険サービス

A F P 山本 貴史

H11年応用化学卒

〒062-0051  
札幌市豊平区月寒東一条六丁目一番三番  
電話 011-207-7211  
FAX 011-859-1573  
携帯 090-890-0433  
http://www.afkts.com

神奈川大学札幌宮陵会  
創立80周年おめでとうございます  
貴会のますますのご発展を  
お祈り申し上げます

有限会社 明治印刷  
札幌市西区発寒16条4丁目941  
TEL 011-664-3251  
FAX 011-665-5110  
meiji-p@f5.dion.ne.jp

創立八十周年!! 同窓生の団結を  
より一層強くし、神奈川大学札幌宮陵会の  
発展に邁進をいたしましょう!

神奈川大学札幌宮陵会  
会長 佐藤 隆良  
(S37年経済学科卒)  
〒065-0028 札幌市東区北28条東12丁目2-11  
電話 011-731-7857

編集後記  
第二十一号・札幌宮陵会創立八十周年記念号を編集するにあたり過去の資料、諸先輩からの聞き取り等をもとに札幌宮陵会年史らしきものを作ってみました。しかし、さすがに八〇年という長い時間の中に埋もれたものも多く、当初思っていた年史には程遠いものとなりましたが、札幌宮陵会の歩みを少しでも感じていただければ幸いです。

編集、発行にあたり会員の皆様、関係各位のご協力をいただき、誠に有難うございました。また、広告協賛を多数賜り心より厚くお礼申し上げます。お陰様をもちまして無事に発行することができました。

会報に関するご意見、ご希望、ご感想等お聞かせいただければ幸いです。

企画広報委員長 千葉 裕之  
企画広報委員一同

会報製作にあたり  
ご協賛をいただいた方々

千葉 裕之様  
(S52年経済学科卒)

安藤 由起様  
(H14年応用生物学科卒)